



健康せきかわ21 いきいきライフ

にいがた^{けんこう}健口文化推進月間 11/1～11/30

「お口の健康は心と体の健康の土台です」

村では歯科保健計画を推進していて、年次計画に沿って様々な歯に関する事業を実施しています。今年度は村内事業所43か所に歯科に関するアンケートを送付し、事業所の歯科に対する取り組みを調査しました。事業所においては歯科の取り組みがない事業所が多く、お口の健康に関しては個人で取り組むべきという雰囲気があるようです。

村では希望のある事業所にお口の健康に関する出前講座も実施しています。希望される事業所は気軽にお問い合わせください。(住民福祉課 保健師 TEL 64-1472)

受賞おめでとうございます

新潟県いきいき人生よい歯のコンクール奨励賞受賞者

加藤 又藏さん(内須川)
大嶋 末三さん(上野新)

新潟県親と子のよい歯のコンクール奨励賞受賞者

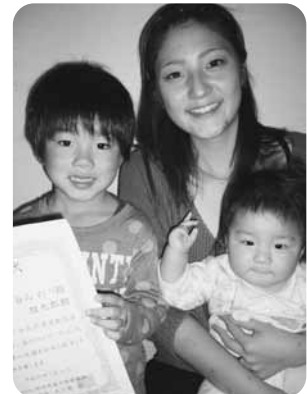
石谷 みのりさん・鼓太郎ちゃん親子(小和田)

※昨年度の3歳児健診において親子でむし歯がなく、村では初めての受賞となりました。

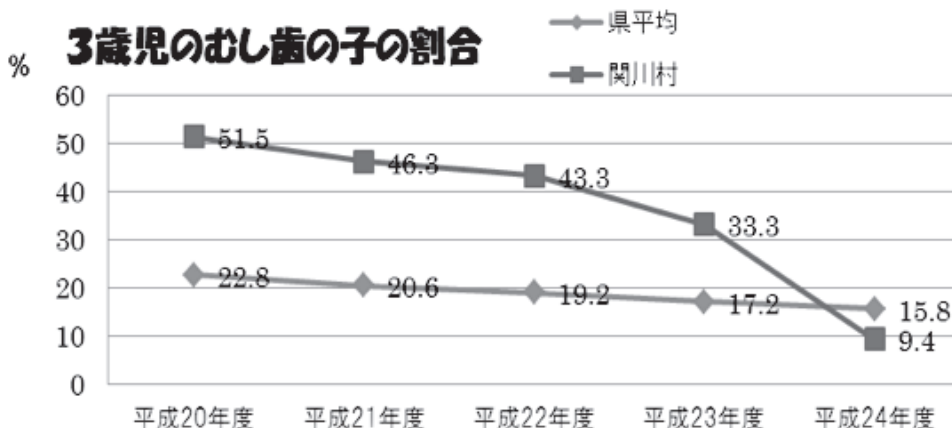
あなたもコンクールに出場してみませんか？

80歳以上で自分の歯が20本以上ある元気な方、むし歯のない3歳児の親子が対象です。

▶石谷みのりさん・鼓太郎ちゃん親子



村の子どもが、県内でもむし歯が多い状況であったことを知っていますか？
むし歯の子の割合は県の平均よりも毎年高く、県内でむし歯が多い市町村トップ3に入っている状況でした。ところが、平成24年度はむし歯の子の割合が県の平均を下回り、10%を切ることができました！



むし歯ゼロの子にピッカピッカ賞

9月25日に行われた3歳児健診で、むし歯が1本もなかった子どもたちに「ピッカピッカ賞」が贈られました。（順不同・敬称略）

- | | |
|--|--|
|  富樫 ^{りく} 凜空（下土沢） |  松田 純（下 関） |
|  平田 ^{かほ} 夏帆（下 関） |  高橋 ^{そら} 蒼空（大 島） |
|  米野 元樹（下 関） |  河内ひなた（ 沢 ） |



保護者の皆さんへ

むし歯のない丈夫な歯は、健康の第一歩です！

これからもむし歯ゼロを目指して、小学校3年生ぐらいまでは仕上げみがきをしてあげてくださいね！



健康講座

106

大腸がん検診の重要性

新潟県立坂町病院 外科部長 富田 広

現在大腸がん検診として一般的に行われている方法が便潜血反応検査です。これは大便の中に肉眼では確認出来ないような血液の混入があるかどうかを調べる検査です。大便は、スティック状の採便棒を刺し込み専用容器に入れて提出します。この検査は人間の血液のみに反応し、たとえ生肉を大量に食べても検出されないしくみになっています。一般に検査の精度を上げるために「2日法」という日を変えて2回大便を採取する方法が行われています。

この2日法で1回でも「陽性」つまり大便に血液が混入しているという結果であった場合は肛門からカメラを入れて大腸を調べる大腸内視鏡検査を受ける必要があります。統計的には便潜血反応検査2日法を千人に行くと、1回でも陽性となる人は50〜60人、陽性となった人を検査するとその約半数が大腸ポリープが見つかり、さらに全体の1〜3人に大腸がんが見つかると言われていています。しかし、その見つかった大腸がんも約半数は早期がんです。早期がんの場合は、多くは大腸内視鏡で見ながら切り取る方法で治療が完了し、外科的手術を受ける必要はありません。

なかには外科的手術が必要になることもあります。大腸がんの手術も今や小さい傷で行う腹腔鏡手術が主流になっていて、坂町病院でも大腸がんの手術の8割以上は腹腔鏡手術です。

一昔前に比べると患者さんの負担はかなり軽くなっています。検診で見つかった場合は、比較的早期の段階のものが多い傾向にあります。早期

のものであれば当然腹腔鏡手術で切り取ることができる確率が高くなるわけです。中には「単孔式腹腔鏡手術」という長さ約4cmの傷を1か所つくるだけで切り取ることが可能なこともあります。

以前からがんは早期発見、早期治療が重要と言われていました。大腸がんは、進行の程度により治療の方法、その後の経過がまったく変わってきますので、特に早期発見が重要です。大腸がんの早期発見のためには、まずは検診などで便潜血反応検査を受けるということです。しかし、進行大腸がんの2割、早期大腸がんの5割は便潜血反応検査で異常が出てきませんので、腹痛や便通異常のある人、血縁者に大腸がんになった人がいる人は、大腸内視鏡検査を受けることをお勧めします。



*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎62-3111